

# 平成30年度寒河江市農業委員会運営方針

## 1 基本方針

近年の農業は、農業従事者の高齢化や担い手の不足による農業人口の減少、減反政策の廃止、更にはT P P問題など、様々な課題を抱え将来を見通せない状況が続いています。平成28年4月1日に農業委員会等に関する法律が改正され、これまでの農地法に基づく許認可事務のほかに、農地等の利用の最適化の推進が農業委員会の最も重要な事務として位置付けされました。

そのため寒河江市農業委員会では、法改正の趣旨に法①担い手への農地集積・集約化②遊休農地の発生防止・解消③新規就農者等の育成・確保の3つの柱をもとに、次のように取り組んでいきます。

## 2 活動方針

- (1) 農地法等の関係法律を遵守し農地法に基づく許可申請等の審議において、現地調査を実施し、迅速かつ適正な対応に努めます。
- (2) 農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農業委員会活動を推進して参ります。
- (3) 「農地中間管理事業」と「人・農地プラン」を活用し、担い手への農地集積・集約化を図るとともに、農地利用最適化の推進に努めるための課題や問題点について行政機関への意見の提出を行います。
- (4) 遊休農地対策として、農地パトロール（利用状況調査）を実施し、農地の有効活用を促す活動と耕作放棄地再生利用緊急対策事業の活用を推進し、遊休農地の解消に努めます。
- (5) 新規就農者等の担い手の育成・確保対策として、関係団体等との連携を図りながら、意欲ある担い手の育成に努めます。
- (6) 日々の農業委員会活動を通じ、農業者の福祉向上のための農業者年金加入推進活動と積極的な各種情報提供を行うことにより、将来に希望を持ち安心して農業が営めるよう魅力ある地域農業の確立に努めます。

## 3 事業計画

### (1) 諸会議の開催

- ア 総会・・・・・・・・・・・・・・・・原則毎月25日
- イ 全員協議会・運営委員会・各委員会・・・必要に応じ随時開催
- ウ 事前審査会・・・・・・・・・・・・・・・・総会開催の概ね4日前

(2) 担い手への農地利用の集積と集約化

農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づく農地関係業務の執行について、公正・公平な審議と適正な事務執行を実施します。また、人・農地プラン、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積・集約化を図ります。

(主な内容)

ア 農地法許認可事務の適切な執行と農地利用最適化推進についての意見の提出

イ 農地中間管理事業を積極的に活用し、人・農地プランに位置づけられた中心経営体等への農地の集積・集約化

ウ 農地所有適格法人の適正な運営のための指導・助言

エ 農地情報公開システム（全国農地ナビ）の適正な運用

(3) 遊休農地等対策

遊休農地等の発生防止・解消のため、市農林課・農協・農用地利用改善組合等の関係機関と連携を密にした取組を実施します。

(主な内容)

ア 関係機関と連携した農地パトロール（農地利用状況調査）の実施

イ 遊休農地所有者に対する「利用意向調査」の実施と適正な農地利用の指導

(4) 新規就農者等の担い手の育成

新規就農者や農業後継者の育成・確保を図るとともに地域農業の確立に向けた農政活動及び農業振興の効果的な推進を図ります。

(主な内容)

ア 新規就農者や認定農業者等の担い手の育成・確保

イ 農業者のための各種研修事業の開催

ウ 広報紙やホームページを活用した情報提供活動の充実

(5) 農業者年金制度の啓発と加入推進

農業者の福祉向上のための農業者年金制度の普及と加入者の拡大を図ります。